

小児のくすりの 使い方・飲ませ方

-おくすりの話 vol.14- ■ 薬剤部 米澤 禎貴



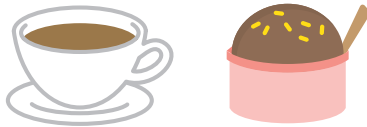
お子さんやお孫さんにお薬を使うとき、中々上手くできず困ったことはありませんか？
今回はそのような場合のくすりの使い方・飲ませ方をお話させていただきます。

小さいお子さんに使う薬としては、シロップや粉薬、錠剤、坐薬などがあります。
年齢や好みなどで個人差はありますが一般的な使い方を下記に記載します。

	シロップ	粉薬	錠剤	坐薬
基本的な使い方・飲ませ方	服用時に軽く振って、哺乳瓶やスプーン、スポイトなどで飲ませましょう。歯ぐきとほっぺの間に何回かに分けて、少しずつ流し込むと飲ませやすいです。	液体に溶かそうとすると苦味が出ることがあります。少量の水を加えてペースト状にし、味を感じにくい頬の内側や上あごに塗りつけます。もしそれでも嫌がったら少量のジャムと練ってみるのも手です。他にも、少しずつアイスと一緒に食べたり、工夫してみてください。	水で飲みにくい場合は、飲むタイプのゼリーで飲みましょう。飲んだあとは、口の中や舌の奥に残っていないかチェック。	坐薬に水をつけて滑りをよくし、形のとがった方を先にして指のツメが隠れるくらいに奥に入れる。
保存方法	冷蔵庫に保管、基本的に長持ちしません。1~2週間くらい過ぎたら捨ててください。	日が当たらず、湿気の少ない場所に保管。		基本的に冷蔵庫に保管。室温保存のものもあります。

苦味のある抗生剤

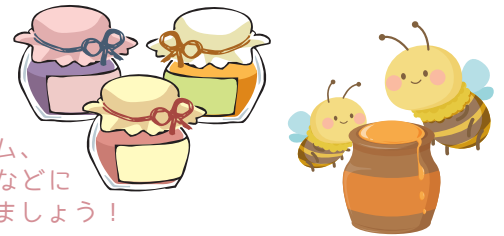
🔍 チョコアイス、ミルクココアなど味の濃いものに混ぜてみましょう！



✖ ヨーグルト、ジュースなど酸味のあるものは苦味が増します。

漢方薬

🔍 甘いジャム、ハチミツなどに混ぜてみましょう！
※1歳未満の乳児にはハチミツは使えません。



🔍 水の代わりに炭酸飲料を口に含んでから飲んでみましょう！

🔍 漢方のザラザラ感が苦手ならお湯で溶かして電子レンジで加熱してみてください。漢方特有のにおいも飛び、驚くほど飲みやすくなります！

飲み忘れたときは？

指定の時間に飲み忘れたり、お子さんが飲んでくれなかった場合、眠っていたりした場合、次に飲む時間との間が下記の表くらい空けられれば、気がついた時点で薬を飲ませて大丈夫。次の時間が迫っていたら、その時間もあとにずらして飲ませましょう。ぐっすり眠って体力を回復させるのは、病気の時にはとっても大切なこと。無理に起こして飲ませると機嫌が悪くなって、逆にお薬を飲まなくなったりしてしまいます。

ただし、なかには時間を守らなくてはいけないお薬もあるので気をつけてください。

1日3回飲む薬

4時間以上

1日2回飲む薬

6時間以上

1日1回飲む薬

8時間以上

今までお話してきたものは一般的なお話であり、薬によっては例外もあります。当院には小児科はございませんが、ご不明な点や疑問なことはかかりつけの小児科のお医者さんや薬剤師にいつでもご相談ください。

